

工事災害防止に向けた優良事例集

熱中症対策編（令和7年4月）

東京都工事安全連絡会

「朝礼時、作業中、作業後に確認していますか」

➤ 熱中症予防対策(体調確認チェックシートの活用)

- ✓ 日々のKYミーティング等において、元請会社職員及び職長が作業員の体調について1日3回直接聞き取り、体調確認チェックシートに記録することで、コミュニケーションを十分に取しながら熱中症予防に向けた体調管理の充実を図っている。

[熱中症予防 体調確認チェックシート]
(協力会社の責任者・職長がマンツーマンでチェックして下さい)

日 付	令和 元年 月 日 ()												
現 場 名	○○○○○○工事						協力会社名	□□建設(株)					
点検者	△△△△						職 長 名	▲▲▲▲					

下記の質問に対して、作業員の体調の記号を記入して下さい。

チェック時間	朝 礼 時 8:30 (7項目)							午後の作業前 13:00 (3項目)			作業終了後 (2項目)		
	氏 名	年齢	熱中症の経験	体調	睡眠	深酒	朝食	水分補給	体調	昼食	水分補給	体調	水分補給
例	水道 太郎	55	有(無)	○	○	有(無)	○	○	○	○	○	○	○
1			有 無			有 無							
.			有 無			有 無							
10			有 無			有 無							

熱中症の救急措置

「しんどい」と言い始めて…

わずか1時間で危篤、死亡したケースも!

だから… ⇒

熱中症は大変危険!! すぐ医療機関へ!!

少しでも症状が見られたら、ただちに医療機関へ!!

- 迷わず119番通報を!!
- 救急車なら到着後すぐ治療を始めてくれます。

「涼しい場所でしばらく休んでおけ」

この考えが命取り!!

車中で一人で休ませるのは最も危険!!

救急車を待つ間は以下の応急措置を!!

- 着衣をゆるめる!!
- 氷・冷水・送風で体を冷やす!!
(冷やすのは全身ではなく、太い血管の箇所)
- 水分・塩分を摂取させる!!
- 症状が出ているときは塩分0.9% (生理食塩水)で!



1日3回、聞き取りを実施

朝礼時:7項目

(年齢、熱中症の経験、体調、睡眠、深酒、朝食、水分補給)

午後開始時:3項目

(体調、昼食、水分補給)

作業終了時:2項目

(体調、水分補給)

(水道局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 技能実習生などの外国人作業員に対して熱中症対策を伝えるため、多言語による注意喚起を実施している。



[外国人作業員に向けた多言語による注意喚起]

厚生労働省 熱中症関連リンク集(<https://neccyusho.mhlw.go.jp/link/>)

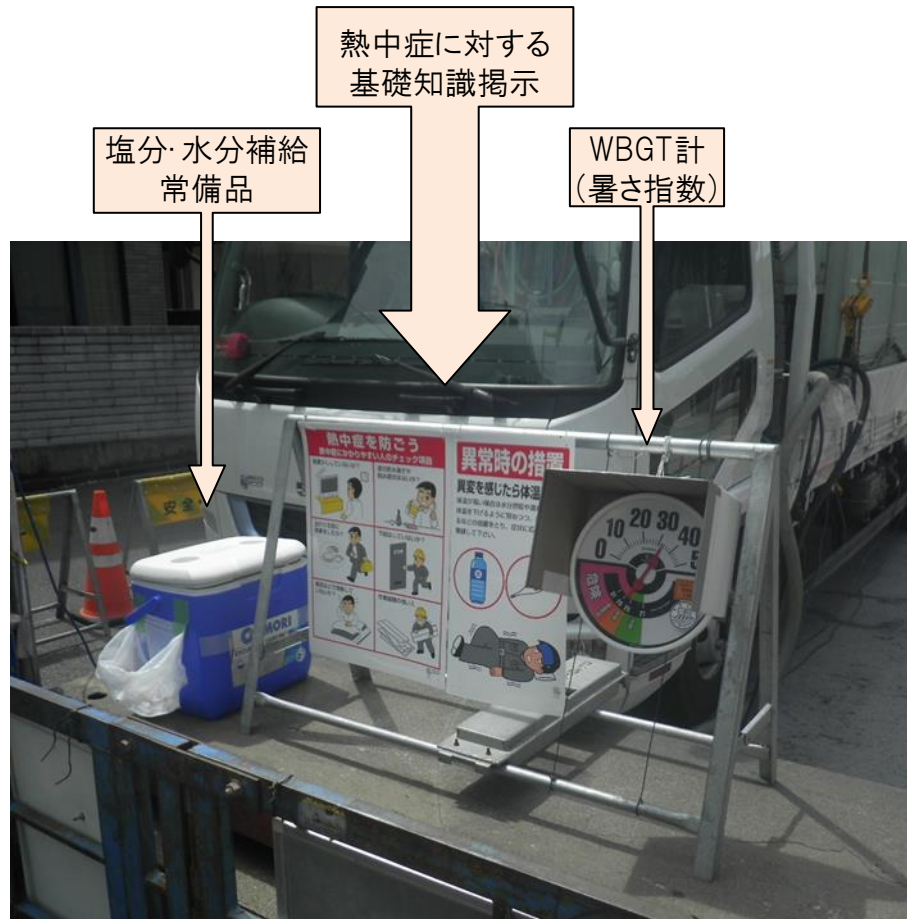
「みんなで防ごう! 熱中症」多言語リーフレット(PDF)

日本語、英語、インドネシア語、クメール語(カンボジア語)、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、中国語(簡体字)

(建設局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 路上工事の現場内で持ち運び可能な形態でWBGT値を見える化し、熱中症に対する意識向上を図っている。



【現場での使用イメージ】



【WBGT計(暑さ指数)】



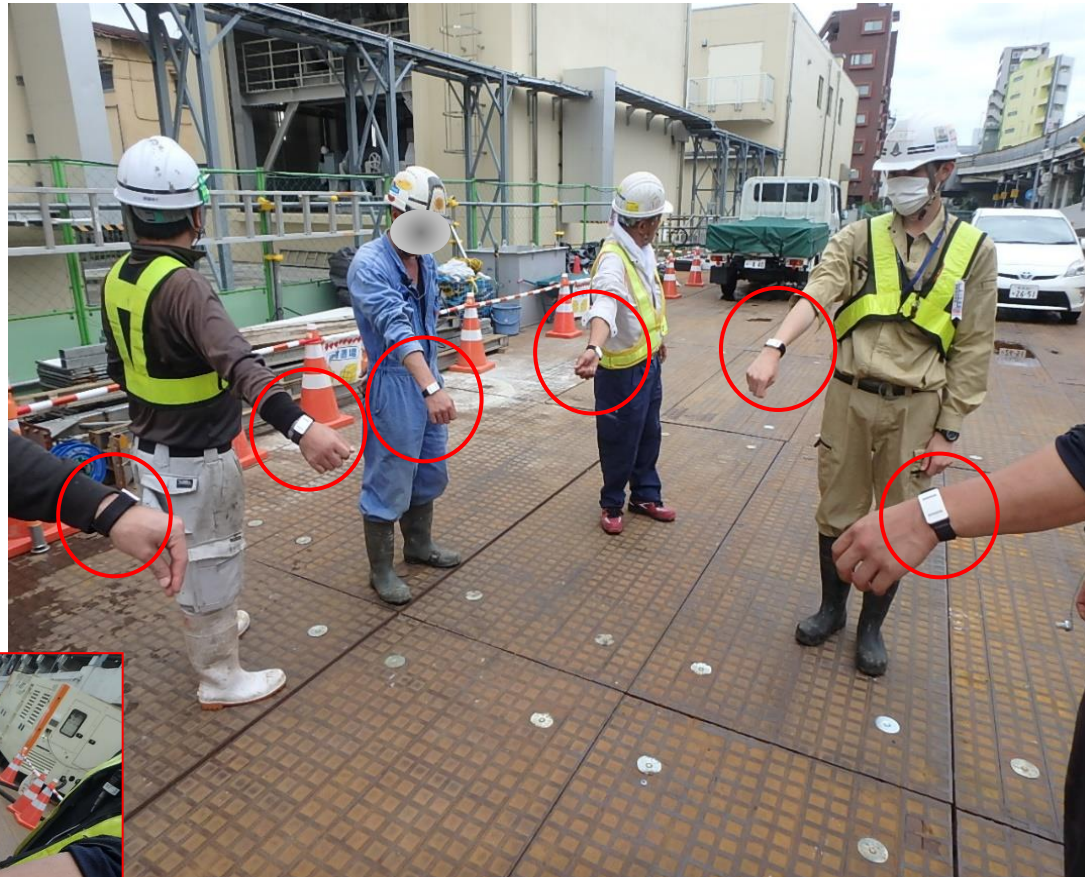
【塩分・水分補給常備品】

(水道局)

「身に付けると、いいですか」

➤ 熱中症対策

- ✓ 受注者が下請会社を含め全現場作業員に腕時計型の熱中症警報器を配布し熱中症の予防を実施している。



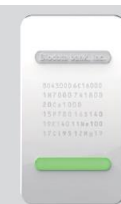
熱中症警報器着用



アラーム



正常動作



(建設局)

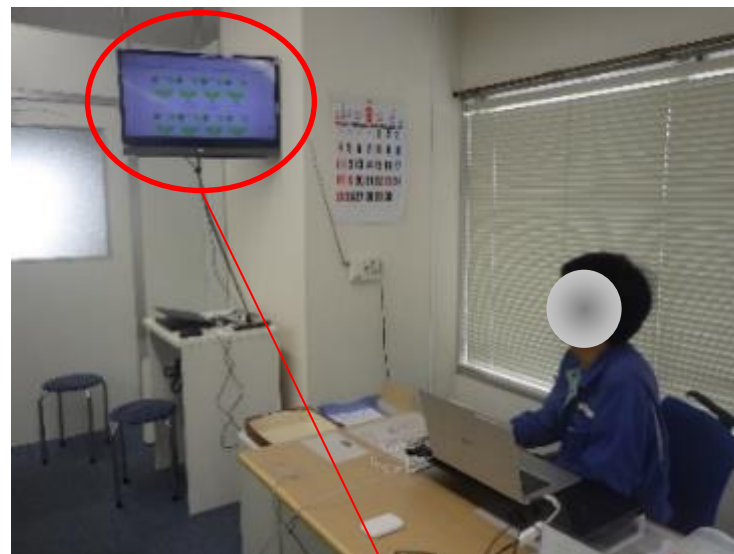
▶ ウェアラブルIoTサービスを用いた夏場作業の熱中症対策

- ✓ ウェアラブルIoTサービスを導入し、夏場現場作業での社員の健康状態を定量的かつリアルタイムに監督者が管理し注意を促すことで、夏場の熱中症対策、社員の体調管理を強化している。

ウェアラブルデバイス装着状況



健康状態の監視状況



(下水道局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 作業員の熱中症防止対策のため、日よけハットを着用している。



日よけハットの着用。



(都市整備局・住宅政策本部)

➤ 熱中症対策

- ✓ 作業場所が高温多湿となることから、各作業員に清涼ファンを取付け、作業環境を改善するなど熱中症対策を実施している。



(下水道局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 現場責任者が熱中症対策警報機を携帯し測定することで、警報機能による熱中症の予防を実施している。



(下水道局)

➤ 熱中症対策

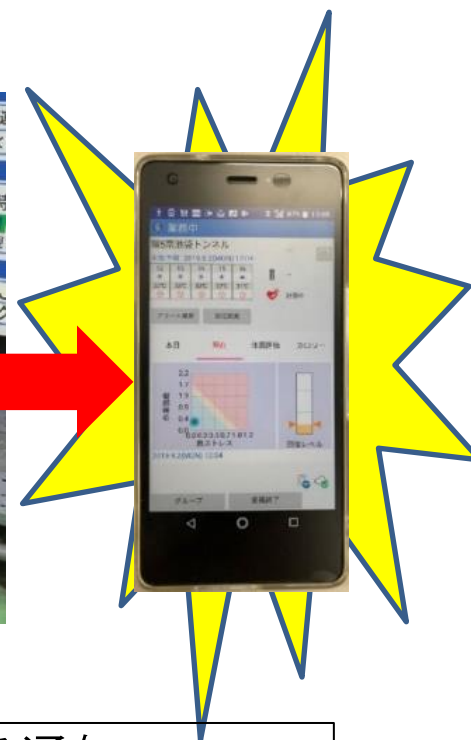
- ✓ 覆工板下など高温多湿の工事現場では、作業員等に電動ファンのついた空調服を着用させるなど体を冷却する対策をとっている。
- ✓ 新たな試みとして、作業員のシャツに検知器を取り付けて体調変化や転倒などの状態を検知し、管理者のパソコンや作業員のスマートフォンに通知してリスクの見える化を行い、危険時にアラートを鳴動させるウェアラブルIoTを一部の現場で採用している。



空調服



ウェアラブルIoTによる通知



(交通局)

「休憩するところは、涼しいですか」

➤ 熱中症対策

- ✓ 熱中症対策として、冷水器・製氷機・かき氷機・塩飴・シャワー室など多様な対策グッズを用意して、個人の症状や休憩時間に合わせて利用しやすいようにしている。



(交通局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 日陰がない現場において、仮設テントを設置して日陰をつくり、作業員の一時的な小休止の場として活用している。
- ✓ 仮設テントは、作業箇所が変わることに合わせて、容易に移動することができる。



【仮設テント設置状況】

(都市整備局・住宅政策本部)

➤ 熱中症対策

- ✓ WBGTの予測値及び計測値を作業員の見やすい場所に掲示し、定期的な休憩を促すなど、熱中症に対する注意喚起を行っている。
- ✓ 熱中症対策用に現場内に休憩所を設置している。すだれにより日射を遮っている。



(建設局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 当日のWBGT値を測定・見える化し、全作業員へ周知することで熱中症対策に対する意識向上を図っている。
- ✓ 現場内にエアコン付きの休憩所を設置するとともに、作業箇所に隣接してテントを設置し、作業の合間に日陰で休めるようにしている。

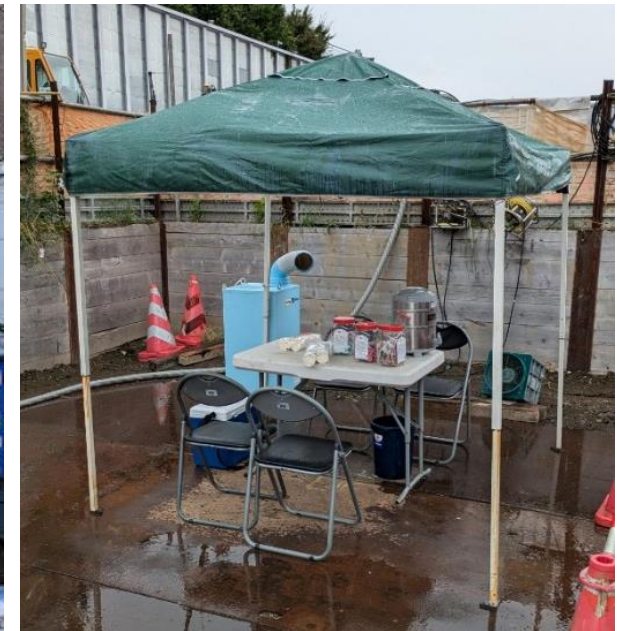
熱中症指数モニター
 症予防の参考にしてください。

← WBGT 指数
 ← 気温 (TA)
 ← 相対湿度 (RH)

参考気温 (TA)	温度基準 ※1 (WBGT指数)	熱中症予防のための行動指針
35℃以上	危険 (31℃以上)	熱中症の危険度が非常に高い。
31~35℃	嚴重警戒 (28~31℃)	熱中症の危険度が高いので、負担の大きい仕事は避ける。作業する場合には頻りに休息をとり、小まめに水分・塩分補給を行う。 ※2
28~31℃	警戒 (25~28℃)	熱中症の危険性が増すので、積極的に休息をとり、水分・塩分を適宜補給する。
24~28℃	注意 (~25℃)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら仕事の合間に積極的に水分を補給する。

※1 WBGTとは熱中症を含む暑熱環境における人が受ける熱ストレスを評価する指数です。(Wet Bulb Globe Temperature)
 (ここでのWBGTはその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものです。)

※2 作業場所のWBGT値がWBGT基準値を超える場合、少なくとも0.1%~0.2%の食塩水、ナトリウム40~80mg/100mℓのスポーツドリンク・経口補水液などを20~30分ごとにカップ1~2杯程度摂取することが望ましい。



(建設局)

➤ 熱中症対策

- ✓ 日陰の少ない路上工事現場における猛暑対策として、作業員が頻繁に休憩が取れるようにソーラパネルを搭載した移動式休憩所を設置
- ✓ 休憩所内のエアコンは、ソーラーパネルから供給される電力で稼働させており、作業員は涼しい環境で休憩可能
- ✓ 同じく冷蔵庫も、ソーラーパネルから供給される電力で稼働し、冷たい飲料等も用意可能



発電量と電気使用量がわかるモニター

蓄電池に蓄えた電力で夜間も使用可能

ソーラー電力でエアコンを稼働



ソーラー電力で冷蔵庫を稼働



屋根にソーラーパネルを設置

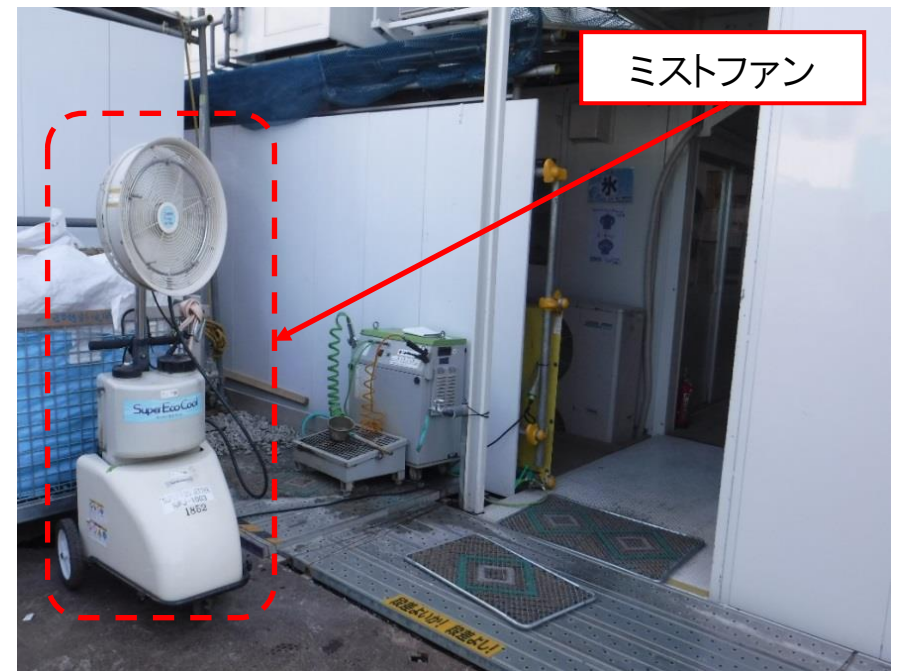
トラックの荷台にソーラーパネル付ハウスを積載

(都市整備局・住宅政策本部)

「冷却設備は、いかがですか」

➤ 熱中症対策

- ✓ 熱中症対策として、ミストシャワー・ミストファンを設置している。



(財務局)

➤ 熱中症対策

- ✓ WBGT値を自動計測し、かつインターネットにて閲覧可能にするとともに、注意旗・電光板で周知し、注意喚起している。
- ✓ また、WBGT値32° C以上は、「危険Ⅱ」とし、空調服使用を義務化している。
- ✓ 細目な水分補給を促すため、廉価な熱中症対策飲料を提供している。

インターネットによる管理



廉価な熱中症対策飲料



注意喚起



※危険2で空調服使用の義務化

(下水道局)

➤ 工事現場の天候変化等の状況把握(熱中症・防犯対策含む)

- ✓ 工事現場に、風速・温湿度・人感センサーを設置することで、天候の変化や熱中症対策、休工事時等における侵入者の把握に努めている。
- ✓ スマートフォンなどによりリアルタイムの検知状況を把握することができる。

